

被爆二世アーティストの挑戦

— 芸術平和学的思考によるコミュニケーションより —

講師：田中 勝氏 (現代美術・映像作家／芸術平和学研究者)

東北芸術工科大学・京都造形芸術大学 共同研究機関「文明哲学研究所」(専任講師) 研究員

今年、広島、長崎への原爆投下から70年となり、私の父も4歳のときに被爆者となった。戦争の世紀と言われた20世紀から未だ続く、紛争やテロによる残虐行為や様々な暴力が横行する不寛容な世界に対して、「平和創造」、「平和構築」は、グローバルな時代における他者との関係性の中で、大きな課題である。これは決して政治的な問題だけのことではない。

被爆二世アーティストとして、国籍や文化の違い、男女の違い、世代の違い、写真と絵画という表現方法にと、さまざまな違いや困難、悲惨な歴史を乗り越えておこなってきた「平和の世紀」プロジェクトの活動をはじめ、芸術が果たす平和への役割を、いくつかの事例を通して紹介する。



作品タイトル:『マザー』(Mother)

作品タイトル:『白い雨』(Clear Rain)



日時：2015年**6月1日**(月)
10:40 ~ 12:10 (2限)

場所：神田外語大学7号館2階
クリスタルホール

司会：梶本 智子 先生
(国際コミュニケーション学科教授／
当研究所副所長)

※ 事前申し込み不要

1969年広島生まれ。東京造形大学卒業。東北芸術工科大学大学院修了。国内外の個展およびグループ展にて多数作品を発表。清里フォトアートミュージアム等にコレクション。1999年より被爆二世の現代美術・映像作家として、米画家と共同作品制作を行い、国内をはじめニューヨーク国連本部などで作品展示を行う。NPO法人ART Peaceの設立代表者。現在、東北芸術工科大学・京都造形芸術大学共同研究機関「文明哲学研究所」に所属し「芸術平和学」を探究。



講師略歴



神田外語大学グローバル・コミュニケーション研究所

〒261-0014 千葉県美浜区若葉 1-4-1 TEL/FAX: 043-273-2324 E-mail: gci@kanda.kuis.ac.jp